

平成 14 年度日本のイノベーションシステムに  
関わる産学連携実態調査  
報 告 書

平成15年3月

独立行政法人経済産業研究所  
株式会社 日本アプライドリサーチ研究所

## 序

本報告書は、平成 14 年度に独立行政法人経済産業研究所から委託された『平成 14 年度日本のイノベーションシステムに関わる産学連携実態調査』の成果をとりまとめたものである。

技術革新の進展や国際競争が激化する中、企業の研究開発において大学等の外部機関との連携する「産学連携」の意義が高まっている。大学に埋もれている研究技術を新製品開発・新ビジネスへの取り組みに意欲的な企業に移転することは、研究開発の効率化を進め、新たな産業を興し、ひいては日本経済の活性化が計れるため各方面から期待が集まっている。これを一層推進するため、大学等技術移転促進法（TLO 法）の制定や「産学連携サミット」の開催など、政策的な取り組みも進んでいるところだが、国際的に見るとその活発度はまだ低い状況であると言わざるを得ない。

先に、経済産業省が「イノベーションシステムに関するアンケート調査」として、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の産学連携プロジェクト又は地域コンソーシアムプロジェクトに参加している大学及び企業に対してアンケート調査を実施し、有益な知見を得た。

そこで本調査では、企業のイノベーションを取り巻く経済制度や公的セクターの役割などの環境に関してより具体的な資料を得るため、調査対象を広くわが国製造業事業者に広げてアンケート調査、一部電話調査を実施することにより、産学官の共同研究プロジェクトなどの全国的な実施状況、産学の連携による研究実施の特徴を明らかにした。

本報告書はその成果をとりまとめたもので、第 1 章では、表やグラフを多用し調査結果の概要を紹介し、第 2 章では調査の集計結果を掲載し、第 3 章では、調査の実施概要及び調査票を整理し掲載した。

最後に、本調査を進めるに当たって、アンケート調査や電話調査にご御協力いただいた企業各位に心から感謝を申し上げます。次第であります。

平成 15 年 3 月

株式会社 日本アプライドリサーチ研究所  
代表取締役 溝 口 邦 廣

# 目次

---

## 第1章 調査結果の概要

|                          |   |
|--------------------------|---|
| 調査の概要、調査結果のポイント.....     | 1 |
| 第1節 研究開発に関する外部連携の実態..... | 2 |
| 第2節 産学連携に関する詳細 .....     | 5 |
| 第3節 産学連携に対する評価と課題.....   | 7 |

## 第2章 アンケート集計結果

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 第1節 研究開発に関する外部連携の実態..... | 13 |
| 第2節 産学連携に関する詳細 .....     | 51 |
| 第3節 産学連携に対する評価と課題.....   | 69 |

## 第3章 調査実施の概要

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 第1節 調査の目的 .....            | 107 |
| 第2節 調査実施の概要（アンケート調査） ..... | 107 |
| 第3節 調査実施の概要（電話調査） .....    | 107 |
| 第4節 各調査における回答票の構成.....     | 108 |
| 第5節 アンケート調査票.....          | 111 |